



WEEKLY REPORT



会長 築瀬 敦

= 築瀬 敦 会長スローガン =

“ロータリーのマジックを信じ 地域にマジックを掛けよう”

- 例会日:毎週水曜日 12:30～
- 例会場:ホテルシーズン日南
- 事務局:日南市岩崎3丁目4番地1-2号 Itten堀川ビル2F 創客創人センター内
- TEL:0987-22-3363 FAX:0987-22-3515

第3417例会	No.37	2025.4.16	
点鐘・ロータリーソング	12時30分	「それでこそロータリー」	
四つのテスト	井野畑 善順君		
例会行事	R情報委員会		

会長時間



いきなりですが、日本の環境問題って悪化していると思いますか？改善していると思いますか？

日本は先進国だから改善していると思う。公害とか環境問題なんて、昭和の話でしょ。とっていると、ちょっと信じられないくらい環境破壊が進んでいる現状にショックを受けるかもしれません。平成30年に環境省は「あと20年で日本全国のゴミの埋め立て場が満杯になり、ごみを埋め立てできなくなる」という発表を出しました。つまり日本では、2040年にはゴミを埋立てている最終処分場がなくなることになります。ゴミ処理場が飽和する問題を回避するために、リサイクルできるゴミを資源ゴミとして中国などに輸出してしまいました。しかし、2018年中国はこのゴミの輸入を禁止します。なぜかといえば、今まで中国は、日本から輸入したゴミをマレーシアやフィリピンなどに輸出していたのですが、マレーシアやフィリピンもゴミの輸入を禁止したからです。今、日本はゴミの捨て場を失っています。22世紀は、もしかしたら富士山より大きいゴミの山が日本には誕生しているかもしれません。21世紀の今、日本では年間5500万トンの家庭ごみと、400万トンの産業廃棄物が捨てられています。これは日本人1人が1日あたり1.5kgのごみを出している計算になります。つまり日本だけで1.8億kg、25mプール300杯分ものゴミが捨てられています。しかし、それでも諸外国から見れば、日本人ひとり当たりのゴミの量はOECD36カ国中33位と少ない方なのです。日本は、スーパーで売られている野菜や、お菓子類も1つ1つプラスチック包装でキレイに包まれていることでも有名です。にもかかわらず、海外は日本よりもゴミが多いのですから本当に驚きです。しかし、毎年増えるプラスチックゴミの量。そのすべてがリサイクルされていけば問題ないのですが、現実はずいぶん違います。ふだん、私たちはゴミを分別して出していますが、全体でどのくらいがリサイクルされていると思いますか？現在、日本のゴミのリサイクル率は家庭ゴミ・産業廃棄物を合わせて28%です。つまり、70%以上のゴミは再利用不可能であり、破棄されているということです。ちなみに、リサイクルのために分別しているプラスチックでさえも25%程度しかリサイクルできていないのです。なぜかという、先ほどもお伝えしたように、日本で廃棄される7割のプラスチックが中国やベトナム、タイ、マレーシア、輸出されていたからです。量でいうと100万トン。これは、東京ドーム3杯分ものゴミが毎年、輸出されていたことになります。そして、海外に輸出されたゴミは、最終的にスラム街に捨てられてしまいます。これが社会問題となり、このようなゴミ処理場は危険ということで、政府によって閉鎖され、ゴミが搬入されることもなくなりました。そして、最近のごみ問題は、海洋生物がプラスチックゴミで深刻なことになっているということとの問題も切り離せません。海に捨てられているプラスチックゴミの量は、なんと年間800万トンにもなります。私達が捨てたプラスチックのゴミをクジラなどの海洋生物がクラゲなどの餌と間違えて食べてしまいます。

もちろんクジラだけではなくて、プランクトンを食べているイワシやマグロなど 114 種類の海洋生物の胃袋からプラスチックゴミが見つかっています。その魚や海産物を食べる私たちもマイクロプラスチックを避けることができなくなりました。最近では、サンゴ礁もマイクロプラスチックを吸い込むことで、サンゴ自体の健康を損なうことがわかっています。マイクロプラスチックは私たちの体内にまで侵入していることがわかっています。「NATIONAL GEOGRAPHIC」ナショナルジオグラフィックの発表では8人の体内を調べたところ、全員から9~10種類のプラスチックが人糞から検出されたとのことです。環境破壊は見えないうちで人間や動物を蝕んでいます。マイクロプラスチックは、5mm未満の微細なプラスチックごみであり、人工芝や衣料品等に使用されている合成繊維もその発生源の一つとされています。マイクロプラスチックは海洋に流れ出し、食物連鎖を通じて生物に取り込まれ、体内に蓄積されるなどの問題が発生しています。世界的にも関心が高まり、欧米諸国では規制が始まっています。日本でも新しい動きが見られます。環境省では、全国の海岸においてモニタリング調査等を実施するとともに、沿岸海域・沖合海域において、漂流ごみの目視調査、マイクロプラスチックの採取、海底ごみの採取を実施しています。環境省の海洋ごみ実態把握調査（マイクロプラスチックの調査）によると、日本周辺海域では、北太平洋と比べ16倍・世界の海と比べると27倍ものマイクロプラスチックが存在しています。日本周辺海域は、マイクロプラスチックのホットスポットであり、大きな課題を抱えています。また、東京湾で捕れたカタクチイワシの調査では、計64匹のうち49匹から150個のマイクロプラスチックが検出。そのうちの約1割は、洗顔などの生活用品に使用されている「マイクロビーズ」との結果が出ており、マイクロプラスチック流出による、海洋生物への被害が確認されています。日本におけるマイクロプラスチック削減への対策として、海洋漂着物処理推進法の改正を行い、事業者へのマイクロプラスチック使用抑制や、廃プラスチック類の排出抑制を促しています。しかし、あくまで事業者の自主性に任せており、マイクロプラスチックの製造や販売自体を法的には規制していません。アメリカやイギリスなど多くの国では、マイクロビーズを使用した製品の製造や販売・輸入などが法律によって規制されています。マイクロプラスチックの発生原因となる、プラスチック自体にも多くの国が法的に規制をかけています。規制対象には、使い捨てのレジ袋・食品容器・ストロー・カトラリー等が挙げられており、有料化や販売・使用自体の禁止など、各国でさまざまな対策が実施されています。マイクロプラスチックの削減は、世界的にも技術が確立しておらず、非常に困難なものです。環境省は、日本企業が持つ技術を活かした成功事例を、国内外に共有する取り組みを実施しています。また、技術的な削減のみでなく、マイクロビーズ自体の使用制限もマイクロプラスチック削減には必要不可欠です。

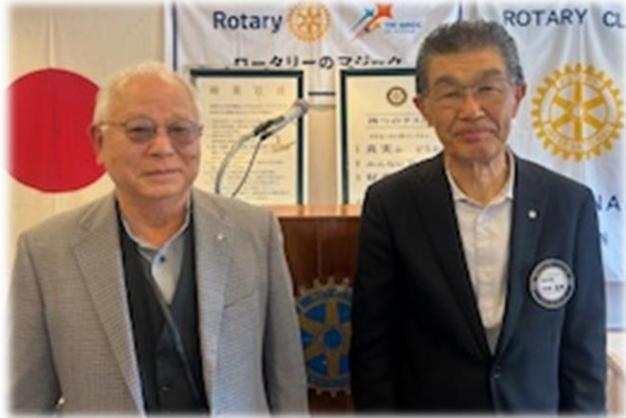
ここで成功事例の日本企業の取り組みをふたつ紹介します。

経年使用して細かく破断した人工芝は場外へと流出することがありスポーツ用人工芝は、経年使用などによって場外に流出することがあり、これらがマイクロプラスチック発生の原因になる可能性が懸念されています。そこで、住友ゴム工業株式会社では、スポーツ用人工芝からのマイクロプラスチック流出を抑制するために、国内初めての取り組みである実証実験を「西宮浜多目的人工芝グラウンド」にて実施しました。グラウンドの外周にマイクロプラスチック流出を防ぐためのゾーンを設置することで、経年劣化などによって発生したマイクロプラスチックが、場外に流出しない仕組みを実現しています。スズキ株式会社では、世界初の船外機に取り付け可能なマイクロプラスチック回収装置を開発しました。船外機が水を汲み上げながら進む構造を利用し、フィルター式の回収装置を取り付けることで、走行するだけで水面付近のマイクロプラスチックを回収することに成功しました。国内で実施したモニタリング調査において、マイクロプラスチックの回収が確認されています。こういった企業努力だけでなく、個人1人1人もごみ削減の努力をすることが地球環境を守ることにつながるでしょう。

幹事報告

1. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より、“ハイライトよねやま No.301号”が届いております。
2. ガバナー月信4月号が届いておりますので回覧致します。

= R 情報委員会アワー =



20250416 情報委員会アワー音声データ

情報委員会アワー
令和7年4月16日例会

今日のメニュー

- 1. ロタリー奉仕デー講演会報告
- 2. ロタリーとDEI

2023-24年度国順ロータリー会長
ゴードンR.マッキーリ



- 1. 心の健康の問題に伴うステイタム（偏見）の解消
- 2. メンタルヘルスのニーズに関する認識の向上
- 3. メンタルヘルスの支援や治療へのアクセス改善

マッキーリ氏は講演で

1. 新型コロナウィルスの世界的流行によって深刻化しているメンタルヘルスの問題の影響を要約します。
2. 助けを要することは通常ある行動です。健康と助けがいたる道を求めることは、さらに勇気あることです。
3. 次年度 (2024-2025年) 以後、ロータリーはメンタルヘルスサービスの意識に取組むことになります。
4. ロータリーは「健康と福祉を促す人の両方をも支える組織」して知られるべきです。
5. 他人の助けを要することで、素晴らしい自分自身になるのです。
6. ロータリーは、平和、健全、生きる価値ある多様な社会を築いています。
7. 助けを要する期間に、助けに対してオープンで頼りなかり、健康と自分自身の中心に「健康と自己ケア」を優先して、ロータリーはより早く、より効果のある助けを早く手助けができます。

石川千佳子宮崎大学名誉教授

第1部……コーディネーター

「死ぬ死ぬ国」が毎晩迫ってくるの



日本画家：藤原ゆみさんの紹介

藤原さんは1958年、立川生まれ、東京芸大大学院修了。国内外の美術展や画廊で作品を発表するほか、公共施設の壁画制作や絵本を手掛けるなど活躍の場を広げている。現在、群馬県立女子大で教職。



心身の健康を助けるための自助ガイド

心身の健康を助けるための自助ガイド。心身の健康を助けるための自助ガイド。心身の健康を助けるための自助ガイド。



心療内科医 武井 美智子
医療法人和心会 理事長
特定非営利活動法人 こころのサポートアミ 代表理事

健児島南ロータリークラブ

- 1. 10歳から19歳が増加
- 2. コロナ以降は70歳以上の方が増加
- 3. 原因
 - ① 経済不安 ② 経済 (お金) ③ 家庭不和問題
 - ④ 精神疾患
 - ⑤ アルコール依存 ⑥ 統合失調症 ⑦ 双極性障害 (双極性障害)
- 4. 自殺した人の90%は精神疾患が疑われる

福山礼子
川崎労働組合工務委員長
青見大平アカデミー

益田由実
公認心理士
個別化社会教育の専門家

- 1. 助けを求め方はまだ増えていない
- 2. 自殺の多かった過去の勘察：パズルやリマージュック 関係より先に連絡が増える
- 3. ネットを通じてアメリカではカウンセラーが充実活動している。
- 4. 日本でもカウンセラーは増加しているが、関係機関や専門職との連携が充実していない。
- 5. ロタリークラブが組織を立ち上げて欲しい……ロータリークラブ広報活動の充実
- 6. 専門職とロータリーが仲介して相談者に寄り添う

福重佳枝 公認心理士
NPO法人チャイルドライン代表理事

チャイルドラインは電話での子どもの悩みや不安を聞き、心に寄り添うサポートを提供しています。悩みや不安、相談だけでなく、嬉しいこと、感謝でも何でも話して良いよ！という方針です。



「ババゲーン効果」と「ウェルテル効果」

ババゲーン効果
ババゲーン効果は、成功を思いやり成功した例を挙げることで大きな自信を鼓舞する効果のことである。最初の由来はロータリークラブの「ウェルテル効果」に由来する。ババゲーン効果は、成功した例を挙げることで、自信を鼓舞する効果である。

ウェルテル効果
マクスマンの報告に要約されて自殺が増える事象を指す。「ウェルテル効果」は、アダム・ウェルテルが1774年に出版した著作「市民の道徳」に由来する。ウェルテル効果は、自殺が増える事象を指す。これは要約された事象で、成功した例を挙げることで、自信を鼓舞する効果である。

フィリップスの報告
「自殺が増える事象」は、自殺が増える事象を指す。自殺が増える事象は、自殺が増える事象を指す。自殺が増える事象は、自殺が増える事象を指す。

全国でワースト2位の自殺率 県が
電話相談窓口を新設

電話相談窓口を新設。電話相談窓口を新設。電話相談窓口を新設。電話相談窓口を新設。

DEI (多様性、公平さ、インクルージョン)

多様性 (Diversity) 公平さ (Equity) インクルージョン (Inclusion)

多様性 (Diversity) 公平さ (Equity) インクルージョン (Inclusion)

第2次トランプ政権 反DEI

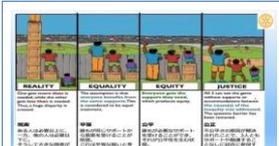
反DEI (Anti-DEI) 反DEI (Anti-DEI) 反DEI (Anti-DEI) 反DEI (Anti-DEI)



四つのテスト The Four-Way Test

1. みんなに 公平 か ……Is it fair to all concerned?
2. 好意と友情を深めるか ……Will it build goodwill and better friendship?
3. 真実かどうか ……Is it the truth?
4. みんなのためになるかどうか ……Will it be beneficial to all concerned?

公平 (Equity) 平等 (Equality) 均等 (Equity) 正義 (Justice)



スマイル

菊池 希樹君 先日、ロータリー会員有志にて飲み会を行った時のお釣りをスマイルします。

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	H C出席	MU	欠席	出席	出席率(%)
今 週	30	7(5)	25	190	2	4	21	84
出席免除	落丸、清水、野崎、古澤、渡邊、							
先取MU	甲斐、村社							
欠 席	榎木田、斉藤奈々、豊田、富満							

事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル 2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：築瀬 敦 副会長：斉藤篤史 幹事：石灘寛樹 雑誌会報広報委員長：菊池希樹

雑誌会報広報委員会より

情報、原稿は、admin.pmy06@honda-auto.ne.jp まで送信してください